

## ペルノックス



社長：稲波 正也



■所在地：神奈川県秦野市菩提8番地7 ■設立：1970年1月  
 ■敷地面積：21,840m<sup>2</sup> ■従業員：140名、協力会社員3名

電気使用量や廃棄物排出量の削減を環境活動として継続しながら、不適合製品など環境(廃棄物など)、品質、利益、へ悪影響を及ぼすものの削減を主体とする活動へ重点を移しています。

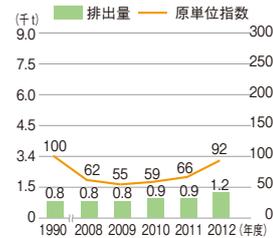
2012年度の環境目標達成状況はおおむね順調ですが、運送業者での破損事故などによる廃棄物発生に対しては一部目標を下回っているものがあります。また、顧客からの非常に厳しい化学物質管理要求に 대응するため、そのシステム化ときめ細かな運用に取り組んでいます。

### ●環境パフォーマンス

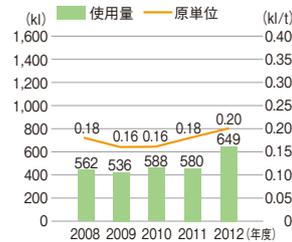
インプット		
水資源	水道水(千m <sup>3</sup> )	3.1
	工業用水(千m <sup>3</sup> )	0.0
	地下水(千m <sup>3</sup> )	0.0
原材料(千t)		3.3
アウトプット		
大気への環境負荷	NOx(t)	0.0
	SOx(t)	0.0
	PRTR物質(t)	0.8
水域への環境負荷	COD(t)	0.0
	SS(t)	0.0
	排水(千m <sup>3</sup> )	3.1
PRTR物質(t)		0.0
製品(千t)		3.2

### ●工場トレンド

#### ■CO<sub>2</sub> 排出量



#### ■エネルギー使用量



#### ■廃棄物発生量



### ■安全への取り組み

本年度より当社においてもリスクアセスメントを導入しました。設備導入あるいは設備を変更するときにはあらかじめ考えられる危険性を予測し低減するための対策を講じることをルール化し、8件の実績がありました。今後は運用管理だけではなく、危険性が確実に低減できているのか見落としは無いのかなど、安全管理に重点を置きたいと思えます。無災害新記録2000日の達成に向け邁進します。



リスクアセスメント推進者  
鈴木 昭久

## 高圧化学工業



社長：水家 次朗



■所在地：大阪府大阪市大正区鶴町五丁目1-12 ■設立：1959年3月  
 ■敷地面積：8,970m<sup>2</sup> ■従業員：65名、協力会社員3名

当社は2008年にエコアクション21の認証・登録を受け、環境保全のための活動をおこなっています。「持続可能性」が重要であるとの認識の下、CO<sub>2</sub>削減、廃棄物削減、総排水量削減に取り組んできました。毎年、目標達成率は100%を超え、審査でも高い評価を得ました。何よりもスタッフからオペレータに至る全員が環境保全の重要性を理解し、自ら積極的に取り組んでいる結果であると考えています。

### ●工場トレンド

#### ■CO<sub>2</sub> 排出量



#### ■エネルギー使用量



### ●環境パフォーマンス

インプット		
水資源	水道水(千m <sup>3</sup> )	37.5
	工業用水(千m <sup>3</sup> )	0.0
	地下水(千m <sup>3</sup> )	0.0
原材料(千t)		3.5
アウトプット		
大気への環境負荷	NOx(t)	1.2
	SOx(t)	0.0
	PRTR物質(t)	0.4
水域への環境負荷	COD(t)	0.6
	SS(t)	0.2
	排水(千m <sup>3</sup> )	37.5
PRTR物質(t)		0.0
製品(千t)		2.0

#### ■廃棄物発生量



### ■安全への取り組み

当社ではユーティリティーおよび重要設備に異常が発生した場合に、現場係長が常時携帯しているPHSへ直ちに音声通報を発報するシステムを構築しています。特に可燃性ガスである水素を比較的高い圧力で製造に使用していることから、万一この水素の供給設備でガス漏洩が発生した場合には、ガス検知器が作動すると同時にPHSへ発報することにより、迅速かつ安全に対処することができます。



設備異常音声発報システム